

一般質問 議:議員/理:理事者

- 中小企業の価格転嫁への支援強化について
- 市の農業政策について

その他の質問

- ・改正鳥獣保護管理法について
- ・薬物乱用防止教育について
- ・「投票支援カード」の導入について



新風会・公明

安岡孝一 議員



議 最低賃金の引き上げや、長引く物価高を上回る賃上げに向けて、働く人の多くが勤める中小企業の「稼ぐ力」アップが不可欠であり、そのためには、コスト上昇分を販売価格に反映させる価格転嫁が最も重要となる。この価格転嫁の支援強化に市としてどのように取り組むのか所見を伺う。

理 県では「業界団体への価格転嫁対策奨励金」の創設や、専門家を派遣する「取引適正化サポーター派遣事業」を実施、また勝山商工会議所でも「価格戦略セミナー」を開催するなどしている。市はこのような関係団体と連携協力し、市内事業者と意見交換を行う中で、各種支援制度の紹介や情報共有などを通して適正な取引を尊重する機運を醸成し、安心して価格交渉を行える環境づくりを支援してまいりたい。

議 政府は、来年から米の生産について、増産の方向にかじを切り、農地の集積・集約化に力を入れるとしているが、市の現状は。また、スマート農業の導入支援や農業法人等の担い手の育成策はあるか。米の品種を高温障害に強い品種に変更することや、中山間地の農業従事者の高齢化もあり、これ以上の農地の減少を防ぐための施策についても伺う。

理 市の農業政策については、令和7年4月現在、市内農地の68.4%が担い手へ集積されている。スマート農業導入支援では、農薬散布用ドローン等の導入を進めており、担い手育成では、農業機械や施設の更新支援、人材確保や育成等の支援などハード・ソフト両面から取り組みを進めている。また、高温耐性品種である「いちほまれ」の作付面積は増加しているが、品質確保のため厳格な栽培管理や制約があるため、県に基準緩和などを要望していく。農地減少対策としては、多面的機能支払交付金や機構集積協力金交付事業などがあり、農林課にて対応している。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 観光について
- 中学校校舎跡地の利活用について

その他の質問

- ・第2期勝山市地方創生総合戦略について
- ・宅配ボックスについて



森かよ子 議員



議 市では、自然・文化・歴史など観光資源が豊富だと言える。「ぼっかけ」などの料理の調理体験や機織りの二次加工などの体験企画も良いと思う。体験型・着地型プログラムの開発について、具体的な施策とそれに対しての補助金や支援はどのように考えているのか。また、市の観光資源はどのようなものがあるか伺う。

理 体験型・着地型プログラムの開発については、本年6月にDMO法人勝山市観光まちづくり株式会社が平泉寺白山神社の3拠点を組み込んだ御開帳特別プランを造成し、県と市から補助金による支援を行った。観光資源としては、豊かな自然、地域文化、豊富な地元食材などがあり、農作物や文化財にもその可能性があるもので磨き上げやストーリーの付加などを行っていく。今後も市、DMO法人、商工会議所、観光関連事業者が連携・協力して、体験型・着地型プログラムの開発や活用に取り組んでいく。

議 市の中学校跡地は体育館、グラウンドも備えている。宿泊施設や昔ながらの遊び体験、サテライトオフィス等活用することもできる。地元地域の人たちと共に検討委員会等を設置する予定はあるか。また、避難場所として活用する予定はあるか伺う。

理 中学校跡地の利活用については、令和6年度から庁内検討委員会で協議を行っている。令和7年度中には一定の方針を定め、市長と語る会などを通じて市民の意見を伺う予定である。人口減少が進む中、すべての跡地を維持することは困難であり、民間活力を導入する必要がある。土地利活用の自由度を確保するため、現在借地部分の土地買収を進めている。避難場所としての活用は、勝山市地域防災計画と整合性を図りながら検討していく。